

# 同窓会 たより



千葉大学看護学部・  
看護学研究科同窓会

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1 TEL 043-222-7171  
ホームページ <http://www.n.chiba-u.jp/dousokai/index.html>

## ご挨拶

同窓会会長 岡田 忍 (3期)

例年はない寒さのせいで遅れた亥鼻キャンパスの桜の蕾もようやく膨らんでまいりました。きっと皆様がたよりを手にされる頃には、初夏のさわやかな風が葉桜を揺らしていることと思います。

昨年度は、東日本大震災で多くの同窓生が大変な思いをされ、まだ今なおその影響の中にいらっしゃるのではないかと思います。この場を借りまして、改めてお見舞いを申し上げます。

昨年度は被災した会員に対する支援として、被災地域に現住所や帰省先のある同窓生201名に対してお見舞いのお手紙を送り、学位記や名簿の紛失について問い合わせを行ないました。中には、原発の避難区域内にご自宅があり、学位記を置いたまま避難されている方もおりましたが、幸い学位記や名簿を紛失された方はいらっしゃいませんでした。お返事のファックスやメールには「暖かいお心遣いありがとうございます」「同窓会がこのような活動をされることに敬意を表します」といった言葉が添えられており、逆にこちらが勇気づけられました。卒業期も異なり、お互いに面識はありませんが、「同窓生という絆」で結ばれていることを強く感じました。

また、今年度は卒業期の若い同窓生がいろいろな委員会活動に積極的に参加してくれました。その甲斐あってか、6月の同窓会企画には50名近い参加があり、卒業期を超えた縦のつながりが築かれつつあるのではないかと感じています。

今年は、ロンドンオリンピックの年、すなわち名簿の発行年にあたります。たよりには名簿の申し込みについても同封されておりますので、購入を希望される方はお申し込みください。名簿の元となる個人票のデータにつきましては信頼できる業者に依頼し、様々なセキュリティをかけた上で厳重に管理しております。個人票は、卒業生・修了生の動向を知る重要なデータであり、皆様の母校である看護学部・看護学研究科にとって貴重な財産となるものです。個人票の住所・電話番号は名簿に掲載しないこともできますので、今年も必ずご返送くださいますようお願いいたします。

### 2012年度活動方針：

同窓会活動のより一層の発展に向けて、2012年度の活動方針として以下の2つを提案します

- ① 様々な機会を通じて同窓会の活動をアピールし、在学中、卒業後も同窓会とのつながりを感じられるような活動を行なう
- ② 準会員・会員に対する支援のしくみについて検討する

## ご挨拶

看護学研究科長 正木 治 恵

今年も桜満開のキャンパスに新入生を迎えることができました。

昨年は、未曾有の災害に見舞われ、多くの方々が今なお不安な日々を送られていることを考えますと胸が痛みます。復興に向けて長期に渡り支援活動にあたられている方々に、感謝の意を表したいと思います。千葉大学においても、「Act For Japan! 復興に向けて、千葉大学ができること」と題して、震災復興支援や減災に関する講演会、シンポジウム、写真展などを開催しました。本学広報誌の最新号にも、千葉大学の学生や教職員による災害支援活動が紹介されています。一人一人が何らかの形で支援活動に関わっており、それらの経験から普段では得がたい多くのことを学びました。

本年度も、本学部の底力宣言で示した3つの目標、すなわち、「1. つねにより高きものを目指すナース・サイエンティストの

育成」、「2. フロントランナーとしての知の創出・統合・発信」、「3. 個人、地域、日本、アジア、世界のそれぞれに力点をおいたパイオニアへ」を具現化すべく、日々の教育・研究・社会貢献活動に取り組んでいきたいと考えております。特に本年度は、国をあげて取り組んでいる復興や防災・災害救援活動等に、本研究科としての取り組みの在り方を示していく時期だと考えています。具体的には、災害看護学を専門とする教育者・研究者・高度実践者の育成が急務ではないかと考えており、それを可能にする組織体制の整備を課題としています。

千葉大学看護学部の卒業生は、この3月で2,852名となり、大学院看護学研究科の修了生は835名となりました。卒業生・修了生の多くの方々が、日本の看護界を牽引すべく、大学や現場で活躍されています。

今後も、皆様方のご協力のもと、本学を更に発展させるべく努力していく所存です。引き続き、千葉大学看護学部の応援をよろしくお願い致します。

# 平成23年度 総会報告

平成23年6月11日(土)15時30分から、看護学研究科第1講義室にて同窓会総会を開催しました。総会では、会長挨拶の後、運営委員会から平成22年度の活動と入会状況について、名簿委員会からは、会員データベースの更新のための個人票の返送率は前年度の40～60%を下回り、全体で23%であったこと、平成24年度は名簿発行予定であり、今年度のデータを元に次年度個人票が発送されるため、今年度は全ての期に対し督促状を発送する予定であること、たより委員会からは、平成22年度のたよりの特集「看護学研究科の新しいこと!紹介します」について、広報渉外委員会からは、従来のホームページ委員会と企画委員会の統合により発足した広報渉外委員

会の所掌範囲と、平成22年度の企画実施、ネームホルダーの作製、卒業生及び修了生への記念品贈呈、ホームページを拡充していくこと等が報告されました。また、平成22年度の会計監査について報告され、承認されました。

平成23年度の新役員が選出され、平成23年度の活動方針について、岡田会長より、同窓会活動のより一層の活性化と震災の長期的影響を考慮し、①学部との連携を強め、準会員・会員相互にメリットを感じられる活動を行う、②東日本大震災で被災した準会員・会員への支援を行うことが提案され、討議の結果承認されました。また、運営委員会からは準会員への入会勧誘の強化、名簿委員会からは宛先不明者数の減少に向けた活動、たより委員会からは、引き続き、書面でたよりを発行することや学部との連携活動、ホームページからたよりが閲覧可能であることの周知について、広報渉外委員会からは、ロゴマークの作成準備、渉外用のグッズ作成の検討、ホームページの拡充、同窓会企画の計画と実施について、同窓会企画シンポジストへの旅費・謝金に関しては源泉徴収を行わず、旅費は公共交通機関利用における最低価格とし、謝金は同窓生5,000円、退官教員は20,000円とすること等提案がされ、承認が得られました。

さらに、東日本大震災に対する同窓会としての対応について、岡田会長より、被害が甚大であった東北3県在住の同窓生は48名であったこと、同窓会としての支援として20万円の予算をとり、その支援の具体的内容は学部・研究科と連携しながら理事会に一任していただき、決定後報告すること、また、震災以外の理由で経済的支援を必要とする準会員に対しても同窓会から生活費や授業料を貸与する制度を今後検討すること、被災地域の会員に学位記の紛失状況を問い合わせること、被災地域の会員に対する郵便物には免許再発行の手続き案内を同封すること等が提案され、承認されました。平成23年度の活動予定に対して、平成23年度予算案が審議され、承認されました。

## 資料1 平成23年度決算報告

項目	計	予算	決算	予算との比較
<b>収入の部</b>	計	8,625,434	8,633,523	8,089
1. 会費	計	8,607,934	8,627,923	19,989
1) 繰越金		7,478,934	7,478,934	0
2) 23年度新入会員終身会費(¥12,000×95名) (内訳 07N卒業生89名 修了生6名)		1,128,000	1,140,000	12,000
3) 利子(内訳 総合口座¥172、定期¥8,800+¥17)		1,000	8,989	7,989
2. 企画委員会	計	3,500	0	△3,500
1) 記念誌代		3,500	0	△3,500
3. 名簿委員会	計	14,000	5,600	△8,400
1) 名簿代振込(¥2,800×2冊分)		14,000	5,600	△8,400
2) 寄付		0	0	0

項目	計	予算	決算	予算との比較
<b>支出の部</b>	計	8,625,434	8,633,523	△8,089
1. 運営委員会	計	53,000	36,420	16,580
1) 会議費(交通費・茶菓子)		21,000	19,893	1,107
2) 郵送費(事務連絡通信費)		15,000	6,750	8,250
3) 人件費(総会アルバイト1名分)		10,000	5,000	5,000
4) 雑費(コピー用紙代、コピー代、ゴム印)		7,000	4,777	2,223
2. 名簿委員会	計	273,500	211,814	61,686
1) メンテナンス・データ処理		109,000	0	109,000
2) 個人票関係費(個人票後納郵便、ハガキ印刷・発送代)		150,000	205,714	△55,714
3) 雑費(振込手数料、バックナンバー名簿郵送費)		2,500	1,900	600
4) 謝金(個人票確認作業補助2名×各2時間)		12,000	4,200	7,800
3. たより委員会	計	701,000	679,876	21,124
1) 印刷費(たより印刷・発送費、たよりへの同窓会企画チラシ封入代)		700,000	679,036	20,964
2) 雑費(振込手数料)		1,000	840	160
4. 広報・渉外委員会	計	309,000	280,536	28,464
1) ホームページ更新費		45,000	10,500	34,500
2) 会議費(招待客・スタッフ弁当代、茶菓子代)		13,000	9,546	3,454
3) 記念誌		1,000	0	1,000
4) チラシ印刷代(企画チラシ印刷代、チラシ三折代)		55,000	50,220	4,780
5) 渉外費(校友会費、企画シンポジスト・司会謝金、シンポジスト宿泊・交通費、退官記念品・花束、卒業式記念品等)		160,000	208,510	△48,510
6) 雑費		35,000	1,760	33,240
5. 寄付・弔意	計	330,480	223,115	107,365
1) 東日本大震災に関する準会員・会員への支援および弔意関係 (内訳) 会員へのお見舞い等の送付等 対象会員201名、準会員への弔意金2名、準会員へのお見舞い1名		280,480	99,466	181,014
2) 玄奘祭への寄付(寄付金、振込手数料)		50,000	50,330	△330
3) 同窓会員と準会員との交流活動援助費 (内訳) 千葉大学医学部付属病院勤務の卒業生と教員・学部生の交流会費一部援助 学部生対象大学院オープンキャンパス懇談費一部援助		0	73,319	△73,319
6. その他	計	0	0	0
7. 予備費	計	6,958,454	7,201,762	△243,308

平成23年度 千葉大学看護学部・看護学研究科同窓会の会計監査を実施した結果、収支共に正当であることを認めます。平成24年4月6日 監査 知任淑子(監) 小川純子(監)

## 資料2 平成24年度予算案

項目	計	9,413,762
<b>収入の部</b>	計	9,413,762
1. 会費	計	8,210,262
1) 繰越金		7,201,762
2) 新入会員会費(¥12,000×84名分)		1,008,000
3) 利子		500
2. 企画	計	3,500
1) 記念誌代(¥3,500×1冊)		3,500
3. 名簿委員会	計	1,200,000
1) 名簿購入見込(¥3,000×400名)		1,200,000

項目	計	9,413,762
<b>支出の部</b>	計	9,413,762
1. 理事会	計	256,000
1) 会議費		5,000
2) 交際費 (弔慰金、玄奘祭への寄付、同窓会員と準会員との交流活動援助、東日本大震災に関する準会員・会員への支援)		250,000
3) 雑費		1,000
2. 運営委員会	計	53,000
1) 会議費		21,000
2) 郵送費		15,000
3) 人件費(総会児童アルバイト謝金2名分)		10,000
4) 雑費(コピー代等)		7,000
3. 名簿委員会	計	1,537,848
1) メンテナンス・データ処理		130,098
2) 個人票関係費(督促ハガキ印刷発送費、後納郵便代)		200,000
3) 名簿制作費		1,194,750
4) 雑費(郵送代・コピー代等)		2,500
5) 謝金(個人票確認作業補助10時間分)		10,500
4. たより委員会	計	738,000
1) 印刷発送費		737,000
2) 雑費		1,000
5. 広報・渉外委員会	計	337,000
1) ホームページ更新費		45,000
2) 会議費		13,000
3) 記念誌		1,000
4) チラシ印刷代(印刷予定部数3,000部、三つ折料金含む)		55,000
5) 渉外費(校友会費・謝金・卒業式記念品(バラ))		200,000
6) 人件費(卒業式記念品準備作業20時間分)		21,000
7) 雑費		2,000
6. 予備費	計	6,491,914

## Curio(キュリオ) 千葉大学校友会SNSの 入会方法

1. <http://www.chiba-u.ac.jp/sns/>を開き、[入会案内はこちら](#)をクリックし、『Curio』入会申込書(正会員用)』より、入会申込書の書式をダウンロードする。
2. 入会申込書に必要事項を記載し、本人であることを確認できる書類(運転免許証、健康保険証など)のコピーとともに、校友会事務局まで郵送かFAXで送る。  
<送付先> 〒263-8522 千葉市稲毛区弥生町 1-33 FAX 043-284-2550 千葉大学校友会事務局
3. 校友会事務局で正会員の資格を持っていることを確認したうえで、『Curio』への登録を行う。
4. 登録が完了したら、メールで連絡をする。



# 同窓会から 記念品を贈りました！



●機能・代謝学教育研究分野の山田重行教授が退官されますので、講義最終日に記念品（ご希望の卓上コンロ）と花束を贈りました。今後も同窓生のことを慈愛の眼差しで見守って下さることと思います。

●平成24年3月23日、看護学部卒業生86名、続く3月27日には大学院修了生43名にバラの花を贈りました。同窓生としての絆を感じる第一歩となったようです。また、4月には、新入生と新3年生にネームホルダーを贈りました。これは平成22年から進級・入学のお祝いとして同窓会から贈呈しているものです。臨地実習等でネームホルダーが役立つことを期待しています。

## 【ご報告】

同窓会では、大震災の被災地の同窓生に見舞い状を送り、学位記や名簿の紛失、再交付の希望の有無をおたずねしていました。これまで被災による学位記や名簿の紛失の報告は寄せられておりません。

## 2011年度 亥鼻祭のご報告とお知らせ

2011年度亥鼻祭実行委員長 看護学部4年 武川美樹

2011年11月5日、6日、千葉大学亥鼻キャンパスにて第9回亥鼻祭を無事に執り行うことができました。2日目は小雨のぱらつく天候でしたが、3,000人以上の方にご来場いただきました。ご来場くださった皆様に深く感謝申し上げます。

テーマは「FULL POWER」とし、自分たちの持てる力を最大限に発揮し、今だからできることを精一杯やろうという思いを込めました。

開催につきましては同窓会からも寄付金をいただき、私たちの活動をご支援いただきまして、本当にありがとうございました。私は亥鼻祭に関わることによって、亥鼻祭が地域の方に千葉大学亥鼻キャンパスを伝える、ということと、亥鼻キャンパスの学生の表現の場である、という2つの大きな役割を持っていることを実感しました。皆様のお力を借りながら、これからも長く愛される大学祭となるように活動してまいります。

2012年度の本部会も発足いたしました。今年度も含めまして、これからも亥鼻祭をよりよい活動にしていくために、皆様に寄付をお願いしたいと考えております。ご協力、ご支援いただければ幸いと存じます。寄付金は一口5,000円で何口でも結構でございます。下記の口座番号まで、郵便振込みでお願いいたします。

(口座番号00160-5-480746 千葉大学亥鼻祭実行委員会)



# 平成23年度 同窓会企画報告



## 看護学部が育んだ男達 ～ Nurse Guyのキャリア形成を考える～



### シンポジスト

田中 裕二氏(2期) 千葉大学大学院看護学研究科准教授  
卯野木 健氏(19期) 筑波大学附属病院看護部看護師長  
角地 孝洋氏(24期) 石川県小松市役所保健師  
後藤 大地氏(32期) 千葉大学医学部付属病院看護師

### 司会

高橋 良幸氏(22期) 千葉大学大学院看護学研究科助教  
近藤 雅巳氏(23期) 千葉県長生郡白子町役場保健師

### 開催概要

日時：平成23年6月11日(土) 13:00～15:00

13:00～ 同窓生を中心としたバンド生演奏  
13:30～ シンポジウム

場所：千葉大学看護学部 第一講義室

参加者数 47名

### 企画内容

今回は、男性の卒業生をシンポジストにお招きし、どのようにキャリアを積み重ね、そして今後どのような道を目指しているのかお話しいただきました。

学部在学生を含め、多数の会員が参加しました。シンポジストの看護界での活躍を聞き、参加者一同、元気ももらうと同時に、自らのキャリアをふり返り今後を考える機会となりました。生演奏も会場の雰囲気を盛り上げ、参加者同士の交流が深まりました。

企画に参加してくださった会員の皆様、当日の運営にご協力くださった皆様に改めて御礼申し上げます。

### 平成22年度広報渉外委員一同

委員長：石橋みゆき(14期)、副委員長：江幡智栄(13期)、委員：村瀬智子(7期)、時田礼子(21期)、山下亮子(22期)、倉田直樹(30期)、屋久裕介(31期)、橋内伸介(32期)

### 参加者アンケートより ～感想&ご意見～

- ・様々なキャリアを持った方々の話が聞けて、とても興味深かったです。自分もまだ働きはじめたばかりで、今後についてのイメージがつかかねていたので、視点が広がって良かったです。
- ・研究または臨床現場で御活躍をされているNurse guysを見て、大変感動しました。自分のやりたい分野を全うするそのモチベーションの高さに、私もこの先、看護を通して何をしていかなければならないのかということを考えるきっかけになりました。とても楽しい企画だったので、またこの様な企画があったら是非参加したいです。
- ・今後の自分のキャリア形成のために非常に参考になりました。残りの学生生活の中で今日の話をもとに勉強に取り組んでいこうと思いました。

### 平成24年度 同窓会企画案内

次回のテーマは、私が千葉大DNAを感じる時～フロンティア精神を発揮する千葉大DNA～です。各年代の同窓生からシンポジストをお招きし、縦横の交流が深まるように企画しました。詳細は同封したチラシをご覧ください。たくさんの方々のご参加をお待ちしております。

# 千葉大学看護学部の授業科目 「看護倫理」の紹介

千葉大学大学院看護学研究科  
森 恵美



この授業科目の成り立ちは通常のものとは違った。21世紀COEプログラム「日本文化型看護学の創出・国際発信拠点一実践知に基づく看護学の確立と展開」のサブプロジェクトGの研究成果に基づいているからである。この背景には時代、看護界からの要請があったからかもしれない。この研究メンバーは、荻野先生、酒井先生、手島先生、山本先生、吉田先生、和住先生と森であり、専門領域を横断した人員であった。私たちが抽出した看護倫理に関する実践知には、患者の抑制をめぐるジレンマ、患者と家族の意思の対立、新生児や精神障害者の意思決定をめぐる問題など、実にさまざまな葛藤状況があり、看護専門職者が直面している倫理的な葛藤場面が多岐にわたっていることを示していた。また、看護に関する意思決定にかかわる看護専門職者の価値観には、日本文化に起因する価値観、例えば患者の意思よりも残される家族を尊重する、個人の自己決定よりも集団の輪を大事にする等の価値観が大きく影響を及ぼしていることが示された。こうした看護専門職者が陥っている倫理的ジレンマ状況からは、対立の構造のアセスメントや、自身の価値観を意思決定に反映させるスキルに欠けるという実態が浮き彫りにされ、私たちは日本文化を反映した看護倫理教育プログラムの開発は急務であると結論づけた。そして、これらの成果に基づいて、倫理的感受性を養い、看護倫理的推論の内在化を目指した日本型看護倫理教育プログラムを開発し、平成17、18年度の2年にわたり看護学部の自由科目として実施したのが、本授業の最初であった（写真1、2）。

平成19年度より、3年次後期 Semester に30時間（1単位）の必修科目（演習科目）として実施している。90人以上を対象とした授業であるが、通常の講義形式の授業

より、教室に熱気がある。学生同士が刺激しあい主体的参加を引き出すようにしていることや、研究メンバー以外にもこの授業に参加する教育側の人々の影響があり活気が増している。多様な事例提供と参加する人々が変化することで、毎年新しい発見をし、学生の学びの深まりを感じている。医学部附属病院の看護師長・臨床指導者の皆様にもグループワークにファシリテーターとしてかかわってもらっていることもとてもよい効果をもたらしている。グループワークにおいて学生は、教材事例の登場人物のさまざまな思いやその価値観を推論し、意見交換を通して人々の価値観の交錯している状況を読み取り、その倫理的葛藤状況の解決策を考える。この学習過程に付き添う教員、看護師、ティーチングアシスタントは10人以上であり、学生からはこんなに多くの先生方にかかわってもらっていて毎回の授業が楽しいという評価ももらっている。授業後のリスポンスーパーを見ると、授業回数が進むにつれて学生の記述が明解となり、学生の学びが具体的にわかるので、教員もよい刺激を受けている。今年からは15時間の授業科目になる。今までのよいところを残し、学生が看護倫理の基礎、倫理的推論を短時間で効果的に学べるように内容を組み立てなおしている。横断的なチームでの教育に慣れてきたせいも、新たなチャレンジにわくわくしているところである。



## 海外で活躍する同窓生

対象の文化を尊重した看護の重要性に気づく

米 増 直 美 (12期生)

12期生の米増直美と申します。アメリカで生活して3年が過ぎますが、未だ英語の修行中です。約10年前、日本で大学の講師をしていた時、海外研修の機会を得ました。その時にアメリカ人の現夫と知り合い、アメリカで暮らすことになりました。

現在は英語修行中のため定職には就いておりませんが、日本での保健師の経験を生かして、日本人を対象にした育児サークルのようなものを仲間と運営しています。この会は、妊婦さんやママさん方が妊娠・出産や子育てについていろいろな情報交換やおしゃべりを通してお互いに知恵を出し合い、みんなで素敵な国際ママを目指す会で、私はそのサポート役です。初めての出産や子育てを経験する方がほとんどですので、皆さん様々な疑問や悩みをお持ちです。その中には文化の違いによるものもたくさんあります。こちらでは出産時には無痛分娩が普通で

すし、入院期間も通常は2日間。育児に関しては、細かいですけど赤ちゃんのお風呂の入れ方も違いますし、食事もちろん違います。アメリカの赤ちゃんは一人で寝るようにスリープトレーニングなるものもあります。出産・子育てというのは、人々の生活の一部なので、たとえ初めての出産・育児に臨む妊婦さんであっても、本で読んだりドラマやニュースを見たりして、何らかの情報や知識はお持ちですが、いざアメリカで出産・子育てとなると、今までイメージしていたものと何か違う、日本のお母さんが言うことと違う、と戸惑うのです。ママさん方からのこのような疑問を出される中で、私自身あらためて日本文化についても意識しましたし、看護職に必要な対象の文化を理解し尊重する、ということの意味がより深く理解できました。もう一つ、文化を尊重した看護について考えるきっかけとなっ

たのは、Health Care Interpreter（医療通訳）の資格を取るコースでの勉強です。Health Care Interpreterの役割は医療を受ける患者さんと医療者のコミュニケーションを助けることなのですが、その中にはCultural Clarifyという役割もあります。これは患者と医療者の文化的なギャップを埋めるために、それぞれの文化を理解した上で、両者が理解できるようにすることです。これを勉強しながら、この役割って看護職の役割ではないのかな？と調べて仕方なかったのです。

文化を尊重した看護の重要性について、日本とアメリカという極端に違う文化の中で暮らしてみてもはっきり見えてきましたが、同じ日本人同士であっても、文化というものはその人、個人個人によって違うものです。そこをこれまで深く考えてなかったかも、と反省しつつ、もっと文化を尊重した看護について追究していきたいなあ、ともやもやと考えております。

## 幸せの国ブータンに暮らし、働きみえてくるもの

ご無沙汰の方、そしてはじめましての方こんにちは！今回は自身を紹介するこのような場を頂きありがとうございます。

私は千葉大学看護学部卒業後、東京大学医学部付属病院で肝胆膵・移植外科、ICU、EICUで計5年働いた後、現在青年海外協力隊として派遣されたブータンのICUで看護師として働いています。学生時代にアジア貧乏旅行を経験し、途上国の人と共に



首都ティンブーの目抜き通り

働いてみたいと思ったことが協力隊へ参加したきっかけです。

ブータンは南アジアのヒマラヤ山脈に位置し、首都ティンブーの標高は2,400m、九州と同じくら

いの面積のとても小さな国です。仏教を深く信仰し、王様を愛し、自国の文化をとても大切に、ゴ・キラという民族衣装を着ている、とてもユニークで素敵な国です。一昨年にブータン国王がご成婚され、訪日したこともあり、ご存知の方も多いのではないでしょうか。

私はブータンの首都ティンブーにある、ブータン最大の国立病院のICUで働いています。病院全体のベッド数は350床。そのうちICUは4床、看護師スタッフ11名、3交代勤務で働いています。病院の設備はCT、MRI、透析、各種血液検査室と一通り整っていますが、試薬がなく特定の血液検査や血液ガス検査ができなかったり、薬の在庫が切れてしまったりすることがあります。また医師、看護師不足している状態で、ICU以外の病棟では、ベッド数36床を各勤務看護師2-3名で看ている状態であり、清拭や体位交換、オムツ交換は泊まり込みで介護にあ



ICU病棟

たっている家族が行っています。抜管、縫合、抜糸などは看護師が行っており、看護師に求められる技術や考え方の違いに、初めは戸惑うことが多かったです。そんな中で、看護師として働きつつ、外部の視点で課題を見つけ、

最後に後輩の皆様へお伝えしたいことがあります。履修した医療通訳コースで学ぶにあたり、入学試験はないのですが、書類審査のようなものがあり、事前に解剖学や生理学を履修したことがある場合はその成績証明書を添付する必要がありました。まさか大学時代の成績証明書を卒業して20年後に取り寄せることになるとは夢にも思いませんでしたし、ましてや学生の頃は、とりあえず合格することを目標に勉強していた不真面目な学生でしたので、成績表を添付するのが恥ずかしかったです。20数年前の自分に会えたら、あきらめずに良い成績を取れるよう頑張れ！と言いたいです。英語についても、もっと勉強しておけばよかった、とつくづく思います。人生何が起こるかわかりませんので、できるときに精一杯勉強しておいて下さい。私も勉強続けます。またどんな展開がまっているかわかりませんから。



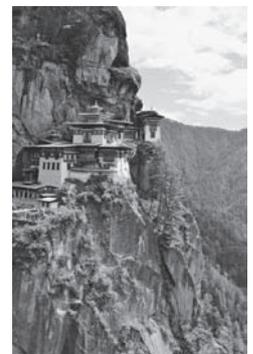
土屋 あゆみ (28期生)

同僚達と一緒にICUをよりよいものにしていくことが私の使命となっています。

ブータンに来て、日本人の勤勉さと日本の医療はとても発展しているということに改めて気づかされました。ブータンの平均寿命は66歳です。日本では助かったかもしれない命がブータンでは助からない。そう思う瞬間がたくさんあります。まだまだブータンの医療は遅れているのが現状です。日本の医療や看護の発展が、ブータンをはじめ、発展途上国の医療の質の向上の手助けができればいいと思います。そして少しでも多くの方が、世界には助けを必要としている国がたくさんあるということを知ってもらえると嬉しいです。

ブータンは幸福度が高い国と言われています。実際には、人間関係や仕事、生活の不満など、私達と同じように悩みを抱え生きています。でも、家族の絆がとてもとても強く、親族で協力しあい、患者に付き添い真摯に介護をする姿や、残業がなく家族団欒の時間をたくさんとることができるブータンの家族と子供達の笑顔をみていると、やはりこの国は幸せの国なのかな、と思ったりします。そんなブータンで暮らし、働き、たくさんの刺激をもらっている自分もとても幸せ者だと思います。

ブータンはとても親日国です！他のアジアの国とはちょっと違う独特の雰囲気があると思います。ぜひ一度遊びに来てください！



## 「退職の辞」

機能・代謝学教授 山田重行

3月末で定年退職となります。月並みですが長いようで短かった14年間でした。同学の士に恵まれることなく孤独でしたが、竹の真っ直ぐなのをみならい、自分に正直に、学生・院生の役に立つような教授でありたいと、しがらみに囚われることなく情熱をもって教育・研究に取り組めたことは喜びであり幸運でした。また、千葉大に来る前の22年間を含め、研究という自分の個性に合った仕事を存分にやれたことも幸運で、ラッキーボーイであったと感謝しています。しかし、迷える子羊のような研究生活で、居場所が転々としたため、見た目には一貫性ある研究を成し遂げることはできませんでした。「ご専門は」と訊かれて「さあ…」と答える体たらくですが、好奇心の固まりのようなこの個性には必然の帰結であったようにも思えます。研究が広漠とした未知への挑戦であるならば、狭い専門領域に閉じこもることなく、好奇心に導かれて多様な知的経験をさせてもらったことは、よき研究者人生であったと言わすべきかも知れません。

私が看護学部に来て任された「機能・代謝学教室」では、人体に関連する多彩な学問を開講することになっていますが、しばらく教えているうちに、これら学問を個別に分離して教えても、単に知識を与えるだけで実際の役に立つものとはならない、それらを相互に関連づけ、統合された生命体の営みの理解につなげてこそ実際に力あるものとなる、と強く思うようになりました。有名な哲学者・数学者であるルネ・デカルトが、「知性を導くための諸規則Regulae ad directionem ingenii」のなかで、「確固とした真実の判断を下すようになるためには、学問を分離して学んではならない」と述べていることに我が意を得た思いでした。そこで、生理解剖学、生化学、分子生物学、神経科学、病因病態学、薬理学など、幾多の学問を統合して、人体と

健康原理の理解のための「統合人体学」を構築することに力を注ぎました。退職に当たり製本したら千頁余となり、某かは完成できたかなと多少の満足は感じています。

8年間外房九十九里浜に住み房総半島を満喫したので、定年後は妻の故郷の近く、伊豆半島の修善寺山中に移住し、肉、魚以外は自給自足の健康生活を目指します。ここが終の棲家となると思いますが、浜名湖畔に浜松医大在職中に建てた家があるので、年の半分はこちらで過ごします。両地は170kmほど離れていますが、愛用のバイクで「通い夫」をするつもりです。私の生まれ故郷である浜松で、病む人と医療者の間にあって、病む人たちの不安を軽減する「健康と薬の無料よろず相談所『健葉庵(けんやくあん)』」を「統合人体学」の実践の場として主宰し、これまでの恩返しをしてから終わりにしたいと考えています。健康教育と仲間作りの場としても活用するつもりで、豊かな人生第二幕が開演できるものとわくわくしています。

長い間のご厚誼を心から感謝するとともに、皆様の益々のご発展とご健康を祈っています。いつかまたどこかでお会いしましょう。ありがとうございました。

けん やく あん  
健葉庵

### 『健康と薬の無料よろず相談所』

- ◇健康やお使いの薬に不安や心配をお持ちの方、社会奉仕が目的ですのでお気軽にご相談下さい。
- ◇健康に関心のある方の健康教育や仲間活動の場でもあります。

常時オープンしています

庵主:山田 重行 (やまだ しげゆき)  
医学博士・薬剤師・元千葉大学教授  
Tel & Fax: 0558-72-0256  
E-mail: emyamada@ybb.ne.jp



## 平成24年度千葉大学大学院看護学研究科説明会案内

### — 博士前期・後期課程及び修士課程対象 —

日 時: 平成24年6月23日(土) 集合時間12:50, 開催時間13:00

場 所: 千葉大学看護学部 講義・実習室

- 内 容: (1) 看護学研究科の概要と特色  
(2) 各教育研究分野等教授紹介  
(3) カリキュラムの説明  
(4) 大学院生からのメッセージ  
(5) 専攻別質問コーナー、大学院生との交流

#### お問い合わせ・お申込み先:

〒260-8672 千葉市中央区亥鼻1-8-1 看護学部大学院担当  
TEL 043-226-2450, FAX 043-226-2382 Eメール: tae5667@office.chiba-u.jp  
千葉大学看護学部ホームページ: <http://www.n.chiba-u.jp/>

参加を希望される方は、平成24年6月15日(金) 17:00までに、お名前・ご住所・電話番号・Eメール・決定していれば志望教育研究分野を記載し、「大学院説明会参加希望」と明記の上、ハガキ、FAX、Eメール等でお申込み下さい。



## 確認はがき(個人票)の返送のお願い

確認はがき(個人票)はすべての会員の方が返送してください。

送付しました確認はがき(個人票)は登録いただいているデータを印刷してお手元にお届けいたしております。確認はがき(個人票)は、同窓会からのあらゆる連絡(たよりの発行、名簿の発送など)のための住所のもととなります。さらに、皆さまから返送された確認はがき(個人票)の情報を元に、看護学部卒業生の現在の就業状況を統計的に把握し、「千葉大学看護学部要覧」に掲載しています。これは、看護学部卒業生の現在の活動状況を知る重要かつ唯一の資料となっております。住所変更や名簿購入希望の有無にかかわらず、確認はがき(個人票)の返送による会員データ管理は、毎年継続しておりますので必ず返送くださるようお願い申し上げます。すでに住所変更をはがきで通知されている方も、必ず返送いただきますよう重ねてお願いいたします。

**今年は11月末に名簿を発行する予定です。必ず確認はがき(個人票)をご返送くださいますよう重ねてお願い申し上げます。**

皆さまご多用のところとは存じますが、何卒ご理解・ご協力を賜りますようお願いいたします。

### ご注意ください。

マンション購入斡旋業者などから同窓生の自宅に勧誘の電話がかかってくるという苦情が一昨年寄せられました。このような業者は電話番号を同窓会名簿を通して知ったということです。

同窓会では、皆さまから集めた個人情報は厳重に保管し、また名簿も信頼のおける業者に作成を依頼しており、こちらから個人情報が流出することは一切ありません。皆さまのお手元にある名簿の管理については充分にご注意いただきますようお願いいたします。古くなった名簿を破棄する場合には裁断(シュレッダ)するなどしてデータが万が一にも流出しないよう管理の徹底をお願いいたします。

## 確認はがき(個人票)記入の手引き

- ☆ ご自分の確認はがき(個人票)に打出されているデータについて、変更・訂正のある場合は、訂正欄に修正内容をご記入ください。変更・訂正をご記入された方は、同封の個人情報保護シールを上貼して、情報をカバーし、ご返送ください。
- ☆ 勤務形態、設置主体、職種、職位は下記のコード表(コード表は、確認はがき(個人票)の左側にもあります)から番号を選択し数字を記入してください。該当するものがない場合には、具体的に記してください。
- ☆ 現住所で連絡が取れないごのために、帰省先の住所をお尋ねしております。
- ☆ 就労の有無については、現在就業している方は「有」に、就業していない方は「無」に○をつけてください。
- ☆ 現在学生の方は最終学歴の「学校名」の欄に学校名を記し、(在学中)とお書きください。勤務を続けたまま学生をされている方(科目等履修も含む)は、勤務状況と学校名の両方のご記入をお願いいたします。
- ☆ 近況報告について、ご記入いただいてもたよりへの掲載を希望されない方は、右のチェック欄にチェックしてください。
- ☆ 名簿に連絡先の掲載を希望しない場合は、該当する訂正欄に「不掲載」とご記入ください。

### 【コード表】

勤務形態：1. 正職員 2. 臨時職員(非常勤、パートタイマーなど) 3. 休暇・休業中

設置主体：1. 国立 2. 都道府県 3. 市町村 4. 公益団体 5. 学校法人 6. 医療法人 7. 個人 8. 会社

職種：1. 看護師 2. 保健師 3. 助産師 4. 養護教諭 5. 看護教育職 6. 研究職 7. 一般職(看護職以外)

職位：1. 非管理職：一般看護職員、一般専任教員、助手など 2. 中間管理職：師長、主任、市町村等の係長、准教授、講師、助教など  
3. 管理職：看護部長、副看護部長、教務主任、市町村等の課長、教授など

## 確認はがき(個人票)返送の締め切り

平成24年6月末日までに返送してください。

「平成24年度会員名簿」の購入をご希望の方は、下記の通り申し込んでください。

### 予約申し込みの場合

同封の振込用紙に必要事項を記入の上、郵便振替にてご入金ください。名簿完成後、登録のご住所に送付いたします。予約は9月末までにお振り込みください。

### 予約申し込みを忘れ、名簿発行後購入希望の場合

1. 名簿購入希望について、同窓会名簿委員長に申し込む。連絡先：E-mail (ndousoukai@ML.chiba-u.jp) または043-226-2452(看護学部学務係) その際、同窓会会員であることがわかるよう、氏名、学籍番号をご連絡ください。もしくは、直接千葉大学看護学部同窓会までお出でください。
2. 同窓会会員であることが確認できた後、購入手続きをとらせていただきます。
3. 名簿の代金について 名簿は1冊**3,000円**です。代金の入金を確認後、発送いたします。
4. せっかく代金を振り込まれても、以下の場合は**寄附金として処理**されますので、ご注意ください。複数冊の名簿代を振り込まれた場合；名簿の購入は**お一人一冊**に限られています。

## 名簿購入のご案内



平成24年度 千葉大学大学院看護学研究科 教員紹介

専攻	講座	教育研究分野等	教授	准教授	講師	助教・助手	特任等	
看護学	基礎看護学	基礎看護学	山本 利江	斉藤しのぶ		椿 祥子 川上 裕子		
		看護教育学	舟島なをみ	中山登志子			(技術職員) 菊地 佳子 (技術補佐員) 望月美知代	
		機能・代謝学		田中 裕二		藤田 水穂		
		病態学	岡田 忍				(技術専門職員) 西尾 淳子	
	母子看護学	母性看護学	森 恵美	坂上 明子			森田亜希子 小澤 治美 前川 智子	(特任准教授) 前原 邦江 (特任研究員) 岩田 裕子 佐伯 章子 土屋 雅子
		小児看護学	中村 伸枝		佐藤 奈保	内海加奈子 仲井 あや		
	成人・老人看護学	成人看護学	眞嶋 朋子	増島麻里子			渡邊 美和 楠 潤子	
		老人看護学	正木 治恵	谷本真理子	(エンドオブライフケア) 今村恵美子	高橋 良幸 河井 伸子		
		精神看護学	岩崎 弥生		野崎 章子	井上万寿江		
	地域看護学	地域看護学	宮崎美砂子	石丸 美奈			岩瀬 靖子 飯野 理恵 上田 修代	
		訪問看護学	諏訪さゆり			辻村真由子	島村 敦子	
		保健学	北池 正			池崎 澄江		
	看護システム管理学	看護システム管理学	病院看護システム管理学	手島 恵	小林 美亜			
		地域看護システム管理学	吉本 照子	緒方 泰子				
ケア施設看護システム管理学		酒井 郁子				(老人看護学) 田所 良之		
指導実践研究センター	ケア開発研究部	野地 有子	黒田久美子					
	政策・教育開発研究部	和住 淑子	錢 淑君	赤沼 智子				
外部資金等講座			特任教授	特任准教授	特任講師	特任助教	特任研究員	
がんプロフェッショナル養成プラン					長坂 育代			
エンドオブライフケア看護学(日本財団)			長江 弘子 和泉成子(在米)		櫻井智穂子			
認定看護師教育課程(乳がん看護分野)						大野 稔子		
組織変革型看護職育成支援プログラム				河部 房子				
FDマザーマップ開発						鈴木 友子		
専門職連携FDプロジェクト					小河 祥子	高橋 平徳		
文化看護国際共同研究センター				望月 由紀				

※ 下線は正会員